

国立高度専門医療センター特別会計 平成17年度特別会計連結財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

(単位：千円)

個別 連結 差額				個別 連結 差額			
＜ 資産の部 ＞				＜ 負債の部 ＞			
現金・預金	1	108	106	未払金等	0	77	77
未収金等	11	127	115	借入金	227	947	719
貸倒引当金	△0	△4	△4	退職給付引当金	46	534	488
有形固定資産	323	1,235	911	その他	2	61	59
その他	0	19	19	負債合計	277	1,621	1,343
				＜ 資産・負債差額の部 ＞			
				資産・負債差額	60	△134	△194
資産合計	337	1,486	1,149	負債及び資産・負債差額合計	337	1,486	1,149

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	個別	連結	差額
前年度末資産・負債差額	75	△179	△255
本年度業務費用合計(A)	△145	△867	△722
財源(B)	153	937	783
その他	△24	△24	△0
本年度末資産・負債差額	60	△134	△194

業務費用計算書

(単位:十億円)

(単位：千円)			
	個別	連結	差額
人件費	44	387	343
退職給付引当金繰入額等	7	43	35
医薬品費	13	168	155
医療技術開発等研究費	5	5	—
委託費	3	35	31
減価償却費	15	78	62
その他	55	149	93
本年度業務費用合計	145	867	722

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	個別	連結	差額
業務収支	15	146	131
財務収支	△14	△39	△24
本年度収支 (業務収支＋財務収支)	0	107	106
資金への繰入等	△0	△0	－
資金残高等	1	1	－
本年度末現金・預金残高	1	108	106

平成17年度について

個別ベースと比較して、資産合計は1兆1,490億円の拡大、負債合計は1兆3,436億円の拡大、資産・負債差額は1,946億円の悪化、業務費用は7,224億円の増加となりました。資産合計の拡大の主な要因は有形固定資産の増9,113億円、現金・預金の増1,064億円及び未収金等の増1,158億円であります。負債合計の拡大の主な要因は借入金の増7,193億円及び退職給付引当金の増4,881億円であります。資産・負債差額の改善の主な要因は、連結による資産負債差額の減1,946億円であります。業務費用の増加の主な要因は人件費の増3,437億円、医薬品費の増1,551億円及び減価償却費の増624億円であります。

留意点

個別ベースとの主な相違

- 貸借対照表
(資産)
現金・預金…(独)国立病院機構 +1,083億円
未収金…(独)国立病院機構 +1,158億円
有形固定資産…(独)国立病院機構 +9,113億円
(負債)
借入金…(独)国立病院機構 +7,193億円
退職給付引当金…(独)国立病院機構 +4,881億円
- 業務費用計算書
人件費…(独)国立病院機構 +3,437億円
医薬品費…(独)国立病院機構 +1,551億円
減価償却費…(独)国立病院機構 +624億円
- 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額 697億円
(上記(A)+(B)により算出)⇒企業会計の「当期純利益」に相当
財源…連結 +7,841億円
相殺消去 △2億円
- 区分別収支計算書
業務収支…連結 +1,313億円
財務収支…連結 △249億円